

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025 応募の手引き

2025.10.01 版

一般社団法人 日本地域開発センター

1. 応募方法の概要

ハウス・オブ・ザ・イヤー2025の応募にあたり、必要な手続きおよび提出資料を以下の(1)(2)に示します。

(1) 応募費用の振込

応募費用は**1件あたり6万円**(消費税を含みます。件数についてはp.4をご確認下さい)となります。所定の金額を、以下の口座にお振込み下さい。**口座が昨年度から変更となっておりますのでご注意ください。**

三菱UFJ銀行 渋谷支店 普通口座 3230540 名称：シャ)ニホンチイキカイハツセンター
--

応募者と振込者の名義が異なる場合はメールにてお知らせください。お振り込みに関する確認・お問い合わせ等も下記にご連絡下さい。

事務局：一般社団法人 日本地域開発センター Mail: info@house-of-the-year.com TEL: 03-3501-6856
--

(2) 提出資料一覧

下表の①～⑧の資料を指定のファイル形式で作成し、全体を一つのフォルダにまとめ、ZIP形式に圧縮したものを電子メールまたはファイル転送サービスで下記の事務局メールアドレスに送付して下さい。

※zip ファイルのファイルサイズがおおむね5 MBを超える場合は、ファイル転送サービスをご利用下さい。

送付先メールアドレス：info@house-of-the-year.com

資料番号	資料名	配布ファイル名	配布ファイルの構成, 提出物の内容等	提出ファイルの形式・数量・ファイル名 その他注意事項
①	基本情報と 応募シリーズ概要	2025_01.xlsx 【入力して提出】	・基本情報シート ・各シリーズ概要シート	・Excelファイル×1（応募企業ごとに1つ） ・このままのファイル名で提出
②	視点1-1 外皮仕様	2025_02.xlsx 【入力して提出】	・入力要領シート ・U値シート(予備を含む) ・UA値等シート(予備を含む)	・Excelファイル×シリーズ数 ・配布ファイルの名称に、応募シリーズ名を付加 ・他ソフト等からの出力も可とします
③	視点1-2 一次エネルギー 消費性能計算結果	2025_03_説明.pdf 【計算プログラムから出力したPDFを提出】 配布ファイルは入力・出力方法等の説明資料です。	・一次エネルギー計算結果	・PDFファイル×応募件数 ・ファイル名は2025_03_応募シリーズ名・地域区分.pdf
④	視点2 省エネ設計手法 ・設備、健康・快適 性等の取り組み	2025_04_説明.pdf 【自由書式で作成したPDFを提出】 配布ファイルは書式・内容等の説明資料です。	・通風利用設計手法 ・日射熱・蓄熱利用手法 ・健康・快適性への取り組み ・省エネ設備 等	・PDFファイル×1（応募企業ごとに1つ） ・書式自由, A4サイズ14ページ以内 ・ファイル名は2025_04.pdf ・一部または全部をURL指定も可
⑤	視点3 情報発信・ 仕様の標準化	2025_05_説明.pdf 【自由書式で作成したPDFを提出】 配布ファイルは書式・内容等の説明資料です。	・HP・SNS・パンフレット等による情報発信内容 ・標準仕様・設備等が明示された資料	・PDFファイル×1（応募企業ごとに1つ） ・書式自由, A4サイズ8ページ以内 ・ファイル名は2025_05.pdf ・一部または全部をURL指定も可
⑥	実物件 確認済証の写し	配布ファイルなし	期間内に竣工した物件の確認済証の写し（1シリーズにつき3棟分）	・PDFファイル×シリーズ数 ・各検査機関の書式 ・ファイル名は2025_06_シリーズ名.pdf
⑦	実物件図面	配布ファイルなし	期間内に竣工した物件（⑥のうちのいずれか1棟）の、 ・各階平面図、立面図 ・矩計図 ・UA値計算書・一次エネルギー計算結果	・PDFファイル×シリーズ数 ・⑥を提出した物件のうちいずれかの図面 ・ファイル名は2025_07_シリーズ名.pdf
⑧	実物件等写真	配布ファイルなし	期間内に竣工した物件の内観・ 外観写真、および任意の物件の 施工中の写真	・PDFファイル×シリーズ数 ・⑦で図面を提出した物件の写真を含める ・書式自由, A4サイズ8ページ以内 ・ファイル名は2025_08_シリーズ名.pdf

※2024年度の応募資料から、資料番号、ファイル名のルール等が変わりますのでご注意ください（視点3-1と3-2の資料を統合しました）。

※いずれの資料も、施主等の個人情報が判別できないように処理して下さい。

※「期間内」とは、2024年10月1日～2025年9月30日の1年間を指します。

※各ファイルのファイルサイズが10MBを超えないよう、画像の数・解像度等を調整して下さい。

各資料の提出は原則として必須ですが、資料④⑤については、提出内容をすべてURL指定とする場合、または記載すべき内容が無い場合にはPDFファイルの提出を省略することができます（後者の場合、視点2または視点3については評価されないことになります）。

なお、審査の過程でこれ以外の資料を追加で提出していただく可能性があります（p.14）。

2. 応募方法の詳細

（1）評価対象

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025の評価対象となるのは、次のとおりです。

①新築・戸建の「住宅シリーズ」

②2024（令和6）年10月1日から2025（令和7）年9月30日までの1年間に、**3棟以上の新築竣工実績**を有すること

モデルハウスは売却予定の有無によらず竣工実績とはみなしません。

なお、「竣工」の定義は検査済証の発行または建築主への引き渡しを指すものとします。

〔留意事項〕

- ・「住宅シリーズ」とは、同一の商品名や、類似したデザイン・仕様等で括られる複数の住宅を指します。
- ・過去に応募された住宅シリーズ（各賞を受賞されたシリーズを含む）でも再度応募することができます。ただし、過去に「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック『大賞』」および「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー『大賞』」を受賞した住宅シリーズについては、省エネルギー性や普及度に特段の向上が見られない場合には再度『大賞』を受賞することはできません。
- ・本制度は、住宅シリーズを「標準的な仕様」での省エネ性能等を評価・表彰するものです。特定の（一棟の）住宅を評価するものではありませんのでご注意ください。住宅シリーズにおいて、お客様が設備の種類・仕様（特に断熱仕様、給湯・暖冷房設備の熱源・機種等、太陽光発電の容量等）を任意で選択可能なものについては、「標準的な仕様」を特定したうえでご応募下さい。

※「標準的」とは、「当該住宅シリーズのパンフレット・標準仕様書等に記載されている」「供給戸数が最も多い」あるいは「商品コンセプトに最も合致する」などを想定しています。

（2）応募受付期間

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025の応募受付期間は次のとおりです。

2025年10月15日（水）～2025年11月10日（月）（必着）

この期間内に、応募費用の振込、および応募資料①～⑧の提出を完了して下さい。

(3) 評価の視点

次の3つの視点から応募資料を審査します。

◆視点1：外皮・設備の省エネルギー性能値

「住宅の省エネルギー基準（平成28年省エネルギー基準）」のエネルギー消費性能計算プログラムを使用し、住宅の躯体・開口部・設備機器の性能を数値化して評価します。

※断熱性能や搭載設備は応募シリーズの標準仕様とし、共通のモデル住宅に適用した場合を想定してエネルギー性能を評価します。建物形状、プラン・断面など設計の工夫は視点2で評価します。

◆視点2：多様な省エネルギー手法の導入、および健康・快適性その他の取り組み

視点1での定量的な評価が難しい省エネルギー技術や設計手法、健康・快適性その他への取り組みを総合的に評価します。

◆視点3：省エネルギー住宅の普及への取り組み

高性能住宅の供給戸数や情報発信等、普及への各種取り組みや、記載された仕様・設備等がどれだけ標準化され、一般ユーザーに明示されているかなどを総合的に評価します。

(4) 応募単位（応募件数）

応募件数は以下に従って定めて下さい。

- ①複数の住宅シリーズ名で応募する場合、シリーズ名ごとに1件とします。
- ②複数の省エネ地域区分で応募する場合、地域区分ごとに1件とします。
- ③断熱仕様・設備仕様の組合せが異なる場合、組合せごとに1件とします。

以下に件数の例を記します。

例1：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Aシリーズ					応募	応募		
Bシリーズ						応募	応募	

この場合、応募件数は「4」となります。

例2：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Cシリーズ	高断熱仕様で応募							
				通常断熱仕様で応募				

この場合、応募件数は「8」となります。

なお、応募する省エネ地域区分の選定方法については次の(5)をご確認下さい。

(5) 応募する地域区分

2024年10月1日から2025年9月30日までの1年間に竣工実績を有する地域区分に応募して下さい。

以下、本資料内で「今年度」と記載した場合には上記の期間を指すものとします。「事業年度」と記載した場合は、各企業の事業年度としての2024年度を指すものとします。

地域区分は、住宅の省エネルギー基準による地域区分（1～8地域）に従います。どの地域区分に何棟を竣工したか、確認のうえ応募して下さい。今年度内に竣工実績のない地域区分には応募できません。

都道府県・市町村と地域区分の対応は、地域区分新旧表

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou/assets/img/library/chiikikubun-sinkyuu.pdf>

などの資料を参照して下さい（「改正後」の地域区分を採用して下さい）。

応募する住宅シリーズが複数の地域区分で竣工実績を持つ場合は、次により応募する地域区分を決定して下さい。

- ① 応募する住宅シリーズの竣工棟数が多い上位2つの地域区分には必ず応募して下さい。それ以外の地域区分での応募は任意です。
 - ② ただし、事業年度の2024年度における新築戸建住宅の総竣工棟数が50棟以下の企業(※)は、住宅シリーズの竣工棟数が最も多い地域区分1つのみの応募でかまいません。
- ※ 企業グループで応募する場合は、企業グループ全体で50棟以下の場合とします。

以下に地域区分選定の例を示します。

例1：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (2024年10月1日～2025年9月30日)	0	0	0	20	20	50	30	0	120
応募する企業の総竣工棟数 (2024年度(事業年度))	(地域ごとの内訳は問いません)								160
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	○	○	◎	◎	×	

この場合、事業年度2024年度の総竣工棟数(=160)が50棟を超えているため、応募シリーズの竣工棟数の上位2区分(6地域および7地域)には必ず応募して下さい。それ以外で今年度内に竣工実績のある4・5地域にも応募することができます(任意)。今年度に竣工実績のない1～3および8地域には応募できません。

例2：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
応募するシリーズの竣工棟数 (2024年10月1日～2025年9月30日)	0	0	0	0	3	10	1	0	14
応募する企業の総竣工棟数 (2024年度(事業年度))	(地域ごとの内訳は問いません)								25
応募(◎:必須、○:可能(任意)、×:不可)	×	×	×	×	○	◎	○	×	

この場合、事業年度2024年度の総竣工棟数(=25)が50棟以下のため、応募シリーズの竣工棟数上位1区分(6地域)のみの応募でかまいません。今年度内に竣工実績のある5・7地域にも応募することができます(任意)。シリーズ全体で3棟以上の実績があれば、この例の7地域のように、1棟しか竣工していない地域にも応募できます。

（６）評価・表彰単位

- ① 評価および表彰は、住宅シリーズごとに行います。複数地域で応募された場合、「視点１」の数値は、各地域区分の竣工棟数に応じて加重平均した値で評価します。
- ② 同一の住宅シリーズであっても、地域ごとに断熱仕様・設備仕様（特に給湯熱源）等の差異が大きい場合は、別のシリーズとして評価する場合があります。この場合、事前に事務局から応募者にご連絡します。

例１：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Aシリーズ				応募	応募	応募		
Bシリーズ						応募	応募	

この場合、「Aシリーズ」の視点１は４～６地域を加重平均したもので評価し、「Bシリーズ」の視点１は６・７地域を加重平均した値で評価します。

例２：

住宅シリーズ名	省エネ地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Cシリーズ	高断熱仕様 & ガス給湯機							
			高断熱 & 電気HP給湯機					
					通常断熱 & 電気HP給湯機			

同一のシリーズ名であっても、断熱仕様および給湯熱源が異なるため１・２地域と３・４地域および５～７地域は別々の評価となる場合があります（一部が入賞し、一部が選外などという結果がありえます）。これらをまとめて評価するか別々に評価するかは、断熱仕様や一次エネルギー計算結果等の差異の程度によります。

応募件数、地域区分、表彰単位等についてご不明な点がある場合は、事務局にメールでお問い合わせ下さい。

info@house-of-the-year.com

(7) 提出資料詳細

① 基本情報と応募シリーズ概要 (配布時のファイル名: 2025_01.xlsx)

「基本情報」と「各シリーズ概要」シートで構成されています。各シート右側の「入力上の注意事項」を確認のうえ入力して下さい。

※昨年度の資料から、レイアウト・入力項目等が一部変更されていますのでご注意下さい。

◆「基本情報」シート

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025 資料①: 基本情報およびシリーズ共通項目										Ver.1.0									
<p>・色のセルが入力、色のセルはプルダウンからの選択となっています。選択内容に連動して、セルの色が変化する部分があります。</p> <p>・必要事項を入力し、Excelファイルのまま送付して下さい。</p> <p>・各シートの右側に「入力上の注意事項」を記載しています。ご確認のうえ入力して下さい。</p>																			
■応募企業情報																			
応募者名 (企業名、企業グループ名等)																			
ご住所 (郵便物送付先)																			
WebサイトURL (トップページ)																			
SNS (アカウント名等)																			
ご担当皆様																			
ご氏名																			
電話番号																			
E-Mail																			
企業全竣工棟数 (整数で入力)										2023(令和5)年度 2024(令和6)年度 ZEHビルダー/プランナー登録 登録なし									
竣工棟数その他 (応募シリーズ以外の物件もカウントして下さい)										2024(令和6)年度 全竣工物件における認定等取得状況 (整数で入力) 長期優良住宅 取得件数 低炭素住宅認定 取得件数 第三者評価 BELS 取得件数 うち、ZEHマーク 取得件数※									

◆「各シリーズ概要」シート

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025 資料①: 応募シリーズ概要										Ver.1.0									
<p>応募するシリーズで、集計期間(2024.10.1~2025.9.30)に竣工した物件について、棟数等を記載して下さい。なお、応募要件として集計期間内に3棟以上の竣工実績が必要です。</p>																			
■住宅シリーズ1																			
シリーズ名																			
省エネ地域区分										1 2 3 4 5 6 7 8 合計									
応募地域 (○)・非応募 (-)										- - - - - - - - 0									
竣工棟数										0									
うち、太陽光搭載棟数										0									
うち、コージェネ搭載棟数										0									
気密性および省エネ関連認定等取得状況										気密性認定 実施棟数 相当断熱面積の平均値 [cm ² /m ²] 長期優良住宅 取得件数 低炭素住宅認定 取得件数 BELS 取得件数 うち、ZEHマーク 取得件数									
■住宅シリーズ2																			
シリーズ名																			
省エネ地域区分										1 2 3 4 5 6 7 8 合計									
応募地域 (○)・非応募 (-)										- - - - - - - - 0									
竣工棟数										0									
うち、太陽光搭載棟数										0									
うち、コージェネ搭載棟数										0									

資料①の規定は以下のとおりです。

- ・応募企業ごとに1ファイルを作成・提出して下さい。
- ・ファイル名は 2025_01.xlsx から変更せず、Excel ファイルのまま提出して下さい。

② 視点 1-1 外皮断熱仕様 (配布時のファイル名: 2025_02.xlsx)

この Excel ファイルは以下の 4 種類のシートで構成されています。「U 値」シートおよび「U_A 値等」シートに断熱仕様等を入力して下さい。

◆「入力要領」シート

このファイルの入力要領を記載しています。必ず内容を確認してから入力を開始して下さい。

◆「U 値」シート

応募する住宅シリーズの標準的な断熱仕様にに基づき、外壁・天井など主な断熱部位の U 値 (熱貫流率)・ Ψ 値 (線熱貫流率) を算出して下さい。算出した U 値等は、U_A 値等シートの該当するセルに転記して下さい。

地域区分ごとに異なる断熱仕様とする場合は、予備のシート (「U 値 2」「U 値 3」) に入力して下さい。

ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025 資料②: U 値									
Ver.1.0									
シリーズ名									
応募する地域のうち、このシートの断熱仕様を適用する地域	1地域:	2地域:	3地域:	4地域:	5地域:	6地域:	7地域:	8地域:	
<ul style="list-style-type: none"> ・応募するシリーズの標準的な断熱仕様を入力し、U 値・Ψ 値を算出して下さい。 ・複数の地域区分で応募する場合、断熱仕様が複数に分かれる場合は、「U 値 2」シートにも入力して下さい。 ・このシートに代えて、他のソフトの出力ファイル等、U 値・Ψ 値の計算過程がわかる資料を提出することができます。詳細は入力要領シートをご確認ください。 									
◆記入例 (外壁)									
			断面1 (一般部)	断面2 (熱橋部)	断面3	断面4			
		面積比率	0.83	0.17					
材料名・表面熱抵抗	熱伝導率A [W/mK]	厚さd [mm]	熱抵抗R	熱抵抗R	熱抵抗R	熱抵抗R			
外気側表面熱伝抵抗 (通気層)			0.110	0.110					
合板	0.160	12.0	0.075	0.075					
住宅用ガラスウール16K	0.045	100.0	2.222						
天然木材	0.120	100.0		0.833					
せっこうボード	0.220	12.5	0.057	0.057					
室内側表面熱伝抵抗			0.110	0.110					
	熱抵抗小計 (ΣR)		2.574	1.185	0.000	0.000			
	熱貫流率 ($1/\Sigma R$)		0.388	0.844	0.000	0.000			
	U 値 (熱貫流率) [W/m ² K]		0.466						

◆「U_A 値等」シート

U 値シートで算出した U 値・ Ψ 値、および標準的な開口部仕様 (U 値・ η 値) を入力して、モデル住宅における U_A 値 (外皮平均熱貫流率) などを算出して下さい。実際に竣工した住宅における U_A 値等を計算するものではありません。外皮面積は、モデル住宅の値があらかじめ入力されています。

算出した U_A 値等は、資料③の作成時に「エネルギー消費性能計算プログラム」に入力して下さい。

複数の地域区分で応募する場合は、予備のシート (「U_A 値等 2」「U_A 値等 3」「U_A 値等 4」) に入力して下さい。同一の断熱仕様であっても、地域区分の数だけシートへの入力が必要です。

A B C D E F G H I J K L M N O P															
ハウス・オブ・ザ・イヤー 2025 資料②: U _A 値等															
Ver.1.0															
シリーズ名															
地域区分 (選択)		(選択して下さい)		上部断熱位置 (選択)		(選択して下さい)		下部断熱位置 (選択)		(選択して下さい)					
<p>・応募する地域区分・断熱位置等を指定し、U値等を入力して下さい。</p> <p>・複数の地域区分で応募する場合は、「U_A値等2」以降の各シートに入力して下さい。同一の断熱仕様であっても、地域区分が変わるとU_A・ηACの値が変化する場合がありますため、地域区分ごとにシートを分ける必要があります。</p> <p>・U_A値等の計算は、以下のモデル建物について行います。外皮面積等はこのモデル建物の値が入力され(変更はできません)。</p>															
<div></div>															

最初に地域区分および上部・下部断熱位置を選択して下さい (入力欄が変化します)

◆付録シート

材料や開口部の熱的性能値などの参考資料を記載しています。

「U値」シート、「U_A値等」シートとも、入力上の注意事項を各シート右側に記載しています。適宜確認しながら入力を行って下さい。

資料②の規定は以下のとおりです。

- ・応募シリーズごとに1ファイルを作成・提出して下さい。ただし、応募する地域区分の数が4を超える場合などは、2ファイルに分けて作成して下さい。
- ・Excel形式のまま提出して下さい。
- ・ファイル名の **2025_02** の部分は変えず、以降の部分を下のようにしたファイル名して下さい。
 - 複数シリーズで応募する場合、シリーズ名を付加（判別可能な範囲で名称を短縮してかまいません）
 - 単一シリーズで応募する場合、付加の必要はありません（2025_02.xlsx のまま提出）
- ・他のソフト等によりU値およびU_A値等を算出した結果を提出することも可能です。その場合の入力条件および提出方法の詳細は、「入力要領」シートの「**■他のソフト等による計算結果の提出**」の記載に従って下さい。

③ 視点 1-2 エネルギー消費性能計算結果

以下のURL（「エネルギー消費性能計算プログラム（住宅版）」）にアクセスし、一次エネルギー計算を行って下さい。先に資料②を用いてU_A値等を算出しておく必要があります。

<https://house.lowenergy.jp/>

2025年10月1日に計算プログラムが3.9.0にバージョンアップされました。
このバージョン以降で計算・出力した結果を提出して下さい。

資料③の規定は以下のとおりです。

- ・応募1件ごとに、上記プログラムからPDFファイルを1つ出力し提出して下さい。複数の地域区分で応募する場合、地域区分ごとにPDFファイルが1つ必要です。
- ・ファイル名は **2025_03** で始まり、それ以降でシリーズ名と地域区分が判別できるものとして下さい。ただし、単一のシリーズで応募する場合はシリーズ名を、単一の地域区分で応募する場合は地域区分を、それぞれ省略してもかまいません。

入力方法・出力方法の詳細は、配布資料の「2025_03_説明.pdf」をご覧ください。

④ 視点 2 省エネ設計手法・設備および健康・快適性向上手法の採用 (配布ファイル名：2025_04_説明.pdf)

通風利用や日射熱・蓄熱利用などのいわゆるパッシブ設計手法や、「エネルギー消費性能計算プログラム」で評価することができない各種の省エネ設備、健康や快適性の向上のための取り組みを、自由書式で作成して下さい。

応募するシリーズあるいは企業として標準的に採用しているものを記載して下さい。特定の物件にのみ、特別に採用した設備・手法等は評価対象外です。

また、一般的な断熱材、窓、換気設備、暖冷房設備など、その効果が「エネルギー消費性能計算プログラム」に反映・評価されているものはここに記入する必要はありません。記入されていても評価対象とはなりません。

内容は以下の1)～7)の要素に区分し、採用している要素について具体的な内容(設計手法、導入実例等。写真や図面を含んでもかまいません)を区分ごとにA4用紙4ページ以内(資料全体では14ページ以内)に収まるように画像・文章等をレイアウトして下さい。

- 1) 通風(自然風)利用のための設計手法・設備導入等
- 2) 日射熱・蓄熱利用のための設計手法・設備導入等
- 3) 日射遮蔽のための設計手法・設備導入等
- 4) 健康・快適性向上のための設計手法・設備導入等
- 5) 蓄電池・太陽光連携エコキュート等、エネルギー地産地消設備の導入
- 6) エンボディドカーボン、アップフロントカーボン削減のための取り組み
- 7) その他の取り組み

資料④の規定は以下のとおりです。

- ・応募企業ごとに1ファイルを作成・提出して下さい。
- ・PDFファイルで提出して下さい(A4サイズ、各区分4ページ以内、全体14ページ以内)。
- ・ファイル名は2025_04.pdfとして下さい。
- ・ファイルサイズが10MB以下となるように、画像の数・解像度などを調整して下さい。

また、上記各項目の内容について企業のWEBサイト等に記載がある場合には、PDFファイルへの記載に代えて、当該サイトのURLを指定することができます。

上記各項目の採用の有無、記載方法等(PDFかURL指定か、URL指定の場合はそのURL)を資料①の「基本情報」シート44-50行目に入力して下さい。

41	■資料の概要(視点2)			
42	視点2の評価項目を採用しているかどうかを選択し、採用している場合は提出資料(2025_04.pdf)における記載ページ、または当該項目について記載しているWebサイト等のURLを入力して下さい。			
43	評価項目	採用の有無	ページ	URL等
44	1 通風(自然風)利用のための設計手法	採用している(PDFに記載)	1	
45	2 日射熱・蓄熱利用のための設計手法	採用していない		
46	3 日射遮蔽のための設計手法	採用している(PDFに記載)	4	
47	4 健康・快適性向上のための設計手法	採用している(PDFに記載)	6	
48	5 蓄電池・太陽光連携エコキュート等、エネルギー地産地消設備の導入	採用していない		
49	6 エンボディドカーボン、アップフロントカーボン削減のための取り組み	採用している(URL指定)		http://www.jcadr.or.jp/HOTY1/
50	7 その他の取り組み	採用している(URL指定)		http://www.jcadr.or.jp/HOTY2/

⑤ 視点3 情報発信・仕様の標準化（配布ファイル名：2025_05_説明.pdf）

以下の2項目について、自由書式で作成して下さい。

- 1) 断熱、設備、省エネ設計、快適性向上その他の取組みを中心とした情報発信の内容
- 2) 視点1・2に記載した内容が、標準的な仕様となっていることを示す資料

A4用紙8ページ以内におさまるように画像・文章等をレイアウトして下さい。

資料⑤の規定は以下のとおりです。

- ・応募企業ごとに1ファイルを作成・提出して下さい。
- ・PDFファイルで提出して下さい（A4サイズ、全体8ページ以内）。
- ・ファイル名は2025_05.pdfとして下さい。
- ・ファイルサイズが10MB以下となるように、画像の数・解像度などを調整して下さい。

資料④と同様、PDFファイルへの記載に代えてWEBサイト等のURLを指定することができます。

上記各項目の採用の有無、記載方法等（PDFかURL指定か、URL指定の場合はそのURL）を資料①の「基本情報」シート55・56行目に入力して下さい。

52	■資料の概要（視点3）			
53	以下の項目について、提出資料における記載の有無、PDF（2025_05.pdf）に記載する場合はページ番号、Webサイトを利用する場合はそのURLを入力して下さい。			
54	評価項目	記載の有無	ページ	URL等
55	1 視点2の内容を中心とした情報発信	URL指定		http://www.jcadr.or.jp/HOTY3/
56	2 視点1・2の内容が標準的な仕様であることを示す資料	PDFに記載	1	

⑥ 実物件確認済証の写し

住宅シリーズごとに、今年度に竣工した実物件の確認済証の写しを3棟分提出して下さい。複数の地域区分で応募する場合、物件はどの地域区分から選定してもかまいません。

次の資料⑦（図面等）を提出する物件は、ここで選定した3棟のいずれか1棟として下さい。

資料⑥の規定は以下のとおりです。

- ・応募シリーズ1件ごとに、3件の確認済証をまとめた1つのPDFファイルを提出して下さい。
- ・ファイル名は **2025_06** で始まり、それ以降でシリーズ名を判別できるものとして下さい。単一のシリーズで応募する場合はシリーズ名を省略できます。

資料に確認申請書を含む必要はありません。また、確認済証に代えて「工事届出済証明書」の写しでもかまいません。

建築主や確認検査員個人の氏名や建築場所の詳細等、個人情報がある場合は黒塗りとするなどで判別できないようにして下さい。逆に、「発行した検査機関」「発行年月日」および「建築場所のうち都道府県名」は判別できる状態として下さい。

なお、「今年度」の指す期間(2024. 10. 1～2025. 9. 30)に対し、確認済証の発行年月日はこれより数ヶ月程度さかのぼった時期となるものを想定しており、これを大幅に逸脱するものについては竣工日に関する追加資料（検査済証の写しなど）の提出をお願いする場合があります。

⑦ 実物件図面

住宅シリーズごとに、今年度に竣工した物件の中で、シリーズとして典型的なデザイン・仕様・規模の実住宅1棟を選定し、その図面と写真を提出して下さい（写真は次の資料⑧として提出して下さい）。

ここで選定する物件は、資料⑥（確認済証）を提出する3棟の中のいずれか一つとして下さい。

資料には少なくとも以下を含めて下さい。

- 1) 各階平面図
- 2) 立面図
- 3) 矩計図（資料②の計算に用いた断熱仕様の主要部分が確認できるもの）
- 4) 外皮性能（UA 値等）計算書、一次エネルギー消費性能計算結果（図面の物件を計算し、評価機関等に提出したものの写し。この資料については、計算プログラムのバージョンは問いません。）

これ以外に、視点2（資料④）などの内容を設計に反映させたことを示す図面・資料を含めてもかまいません。

資料⑦の規定は以下のとおりです。

- ・応募シリーズ1件ごとに、1)～4)の図面等をまとめたPDFファイル1つを提出して下さい。
- ・PDF ファイルで提出して下さい。CAD データでの提出はできません。
- ・ファイル名は **2025_07** で始まり、それ以降でシリーズ名を判別できるものとして下さい。単一のシリーズで応募する場合はシリーズ名を省略できます。

⑧ 実物件等写真

シリーズごとに、以下の 1) 2) で構成した資料を提出して下さい。

1) 原則として資料⑦（図面等）を提出した物件を含む、今年度に竣工した物件の内観・外観写真

- ・図面提出物件の写真撮影が難しい場合は、他の今年度竣工物件の写真でもよいものとします。
- ・一次エネルギー計算で「太陽光発電」および「コージェネレーション」を設置するとした場合は、それぞれの設備を搭載した物件を選び、当該設備が写っている外観写真を含めて下さい。
- ・内観写真は、主要な居室等の内観のほか、視点 1 で計算に反映させた開口部・設備等や、視点 2 に記載した省エネ・快適性のための設計手法が確認できるものを載せて下さい。

2) 任意の物件の各種施工中の写真

- ・主要な部位の断熱・気密工事や、視点 1・2 で採用した要素を中心とした暖冷房・換気・給湯等の設備工事、気密測定時の写真などを載せて下さい。
- ・写真を用意できる任意の物件の写真でかまいませんが、できるだけ今年度に竣工した物件、または 2025 年 10 月の時点で施工中の物件の写真として下さい。

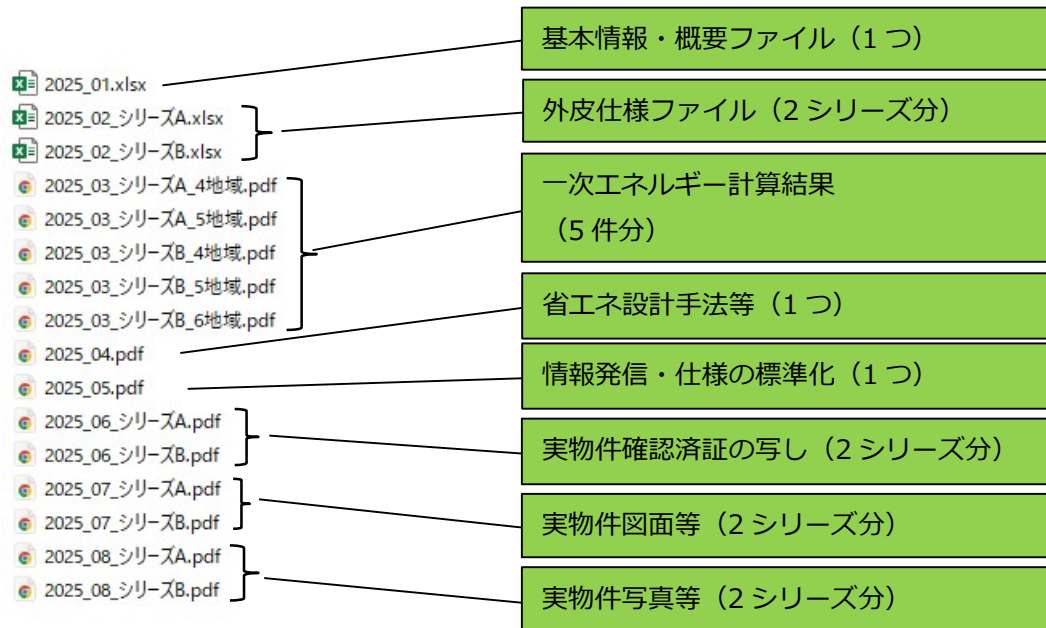
写真のレイアウトや枚数等、書式は自由としますが、A4 用紙 8 ページ以内として下さい。また、各写真には必ずキャプションを付けて下さい。さらに簡単な説明を付記してもかまいません。

このほか、資料⑧の規定は以下のとおりです。

- ・シリーズごとに 1 つの PDF ファイルとして提出して下さい。
- ・ファイルサイズは 10MB 以下として下さい。超過する場合は、貼り付ける画像の数・解像度などを調整して下さい。
- ・ファイル名は 2025_08 で始まり、それ以降でシリーズ名を判別できるものとして下さい。単一のシリーズで応募する場合はシリーズ名を省略できます。
- ・写真に個人情報が写り込まないようにご注意下さい。個人情報部分を黒塗り等で隠してもかまいません。

上記の①～⑧の資料を一つのフォルダに配置し（子フォルダは設けないで下さい）、フォルダ全体を zip 形式で圧縮したものを提出してください。

以下に、提出するファイル構成の例を示します（シリーズ「A」「B」の2シリーズ、合計5地域区分での応募の場合）。



（８）その他の資料、資料の再提出

応募期間内であれば、資料の修正・再提出は自由です。また、提出された資料の修正・再提出を事務局から依頼する場合があります。修正・再提出の際は以下の点にご注意下さい。

- ・応募期間終了後の修正は、指摘した部分のみを修正して下さい（公平性確保のため、指摘のない事項の修正は原則として認めません）。
- ・修正後の資料も、ファイル名・ページ数・ファイルサイズ等の規定に沿ったものとして下さい。
- ・修正に関連するファイルのみを再提出して下さい（すべてのファイルを再提出する必要はありません）。

審査の過程で、以下のような書類を追加で提出していただく可能性があります。

- 1) 断熱材、各種設備等の仕様（性能）が記載されたカタログ・仕様書等
- 2) メーカー・小売店等が発行した断熱材、各種設備等の納品書
- 3) 気密測定の結果を示す資料
- 4) （省エネルギー関連認定等の取得ありの場合）各認定書等の写し
- 5) その他、資料①～⑧の記載内容を確認・補完するための資料

（９）応募資料送付先・お問い合わせ先等

◆振込関連および応募資格関連のお問い合わせ

事務局：一般社団法人日本地域開発センター
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ1311号室
TEL：03-3501-6856

◆応募資料のメール送付先、および応募資料作成等全般に関するお問い合わせ

事務局メールアドレス：info@house-of-the-year.com